



# 本丸だより

令和3年度 第6号 令和3年9月29日(水)  
 新発田市立本丸中学校  
 新発田市緑町2-7-22  
 TEL 0254-22-2525  
 FAX 0254-22-0342  
<https://honmaru.shibata.ed.jp/>



## 思いやりの恩送り

～ Pay It Forward ～

校長 三浦 学

晴れわたる空のもと、9月5日、体育祭が成功裡にフィナーレを迎えました。新型コロナウイルスを乗り越え、情熱と創意、笑顔、感動にあふれた体育祭を創りあげてくれました。仲間を思い、後輩を思う。後輩は先輩を思う。人として、いいねえとほろっとくる、心あたたまる話もありました。よき仲間と共に全力でやりきれたという自信をもち、いい話が数多生まれ人間力も高まりました。9月10日、朝の放送で全校生徒の皆さんに校長から話をしました。保護者の皆様におかれましても、ご理解、ご協力、冷静な対応をいただき誠にありがとうございました。

翌週、一部の生徒に紹介した詩を引用します。

米野嘉朗さんは難病と闘い12歳で亡くなりました。

鎌田實さんは、著書に右の詩を引用し「過酷な運命さえも『宝物』として受け入れようとする姿が伝わってきます。そう思えたのは、きっと周りの友だちがやさしく、思いやりを示してくれたから、

何で病氣やねん  
 神様は生まれてくる時  
 大切な贈り物をくれる  
 ぼくには病氣っていう大切な贈り物をくれた  
 いやだった  
 すごくいやだった  
 そんなものはいらんと思ってた  
 ものすごくつらかった  
 ものすごくかなしかった  
 でもちよつと考えてみた  
 病氣と闘っている間に  
 たくさんの宝物を手に入れた  
 思いやり  
 人の温かさ 命の大切さ  
 笑顔の大切さ  
 出会いの大切さ……  
 そんなたたくさんの宝物を  
 僕はいつまでも  
 大切にしていきたい

米野嘉朗『いつかぼくもビーズになる!』  
 (東方出版) 所収

彼は救われたのではないのでしょうか」と言います(詩も鎌田實著『相手の身になる練習』より)。

中村桂子さんは、人間が二足歩行を始めたのは弱いからとし、「弱いけれど、思いやりがあったから、今まで生きてこられた」と言います。家族のために遠くまで食料を探し持ち運ぶ必要から二足歩行が始まった。「相手のことを考えて行動したり、時には我慢したりするなどの思いやり」があったからだということです(『危機の時代を生きる』より)。

相手や他の人の立場になって想像できる、考えられる力、思いやれる力が高いと人間関係を良くしていく上でも、将来仕事をしていく上でも色々な面で生きてきます。大切な力です。

マイクロソフトのサティア・ナデラ CEO は、「思いやり」等を重視した経営を行っているとし、「満たされていない、明確にされていない顧客ニーズに応えるビジネスを展開している。(略)他者の視点を持つ力なしには、この目的を果たし続けることはできない」と語っています。(『組織の未来はエンゲージメントで決まる』より)

「恩送り」(Pay it forward よくしてもらった、恩を受けた人にお返しするのではなく、別の誰かにお返しすること)を鎌田さんは、相次ぐ災害時の支援を例に前掲書で紹介しています。体育祭に続き、学校生活、新型コロナウイルスの逆境下、合唱などでも「思いやりの恩送り」、思いやりのリレーができればと思います。保護者、地域の皆様もご一緒にお願ひできれば幸いです。